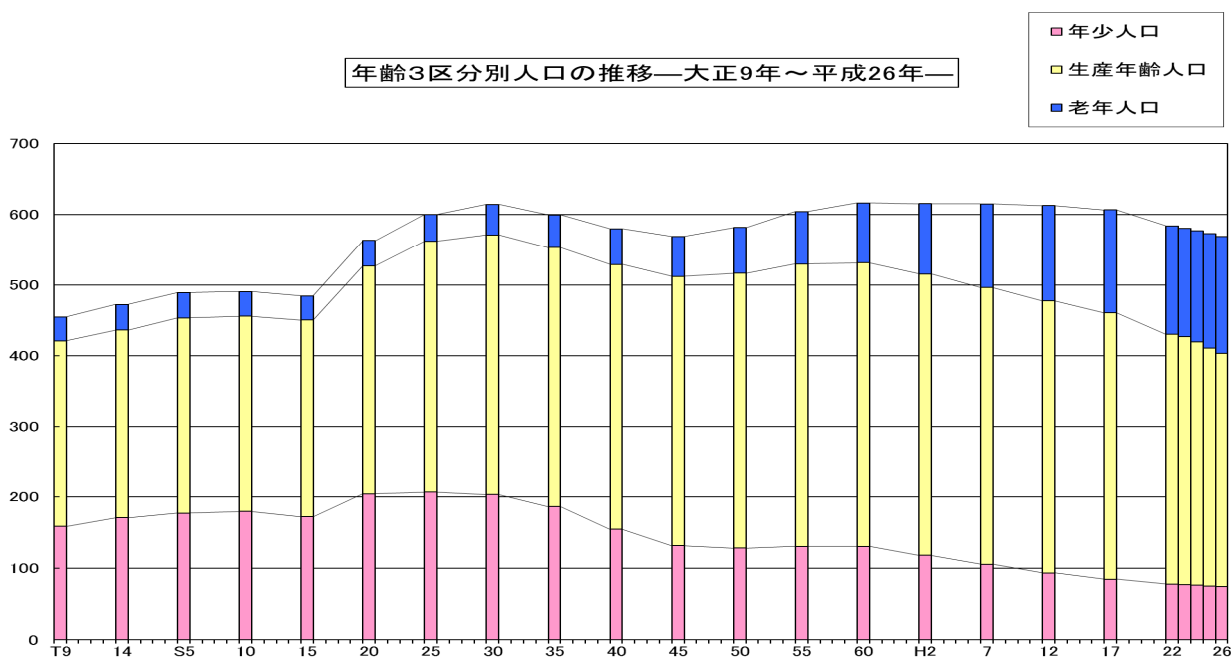
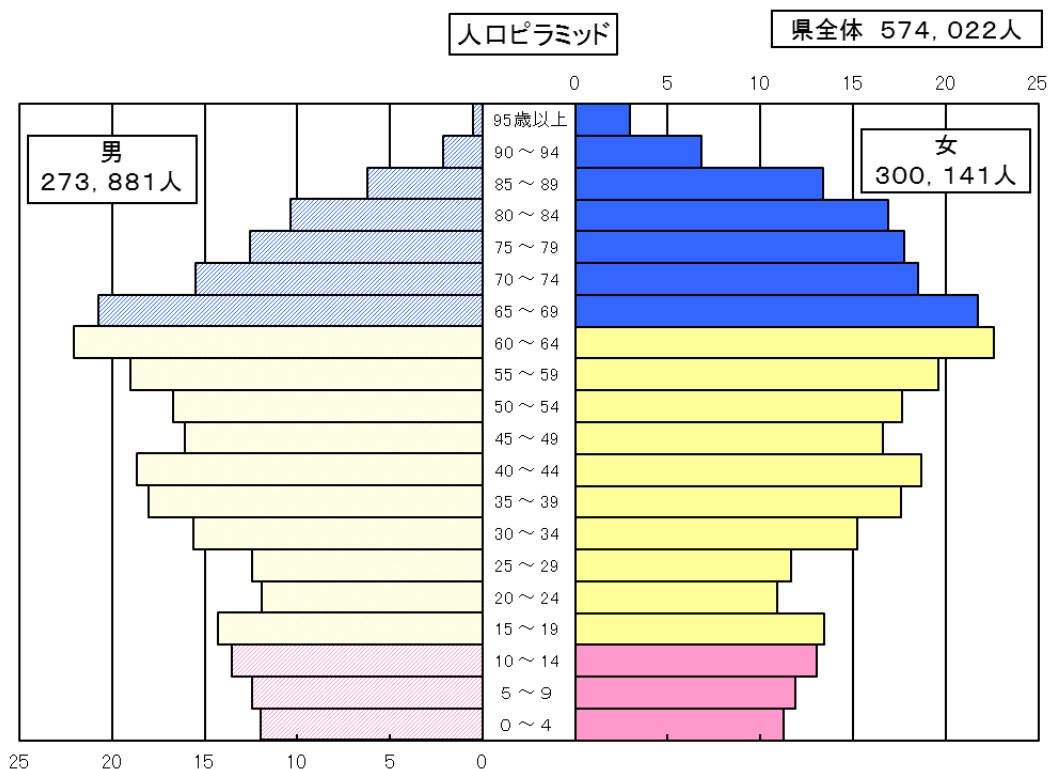


1 鳥取県の人口構成

老年人口割合は29.2%となり過去最高、年少人口割合は13.0%となり過去最低

鳥取県の人口について、年齢3区分別にみると、年少人口は74,183人で前年と比べ911人減少、生産年齢人口は328,751人で7,019人減少、老年人口は166,084人で4,310人増加している。

人口構成割合は、年少人口が13.0%で前年と比べ0.1ポイント低下、生産年齢人口が57.8%で0.8ポイント低下、老年人口が29.2%で0.9ポイント上昇している。



注) 大正9年から平成22年までは国勢調査値、平成23年以降は平成22年国勢調査を基準として推計したものである。

2 市町村の人口構成

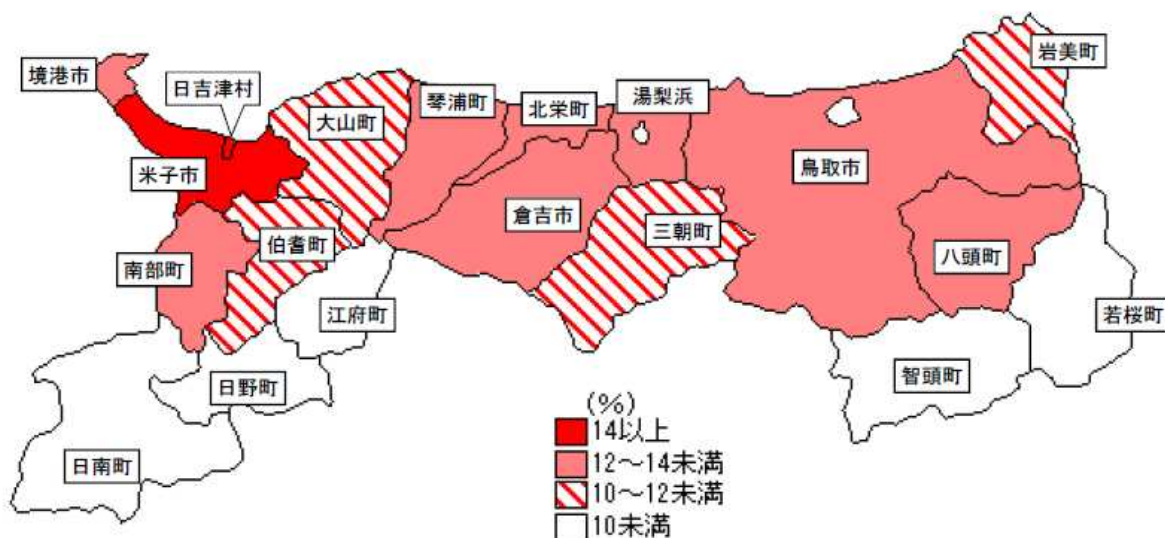
全市町村で老年人口割合が上昇

市町村の人口構成割合について、年齢3区分別にみると、年少人口割合は日吉津村が14.9%と最も高く、次いで米子市が14.0%、湯梨浜町が13.9%、鳥取市が13.5%などとなっている。前年と比べると、智頭町及び伯耆町が上昇、倉吉市、八頭町、三朝町、琴浦町、北栄町及び日吉津村が同水準、その他の11市町が低下している。

老年人口割合は日南町が48.9%と最も高く、次いで日野町が46.3%、若桜町が44.2%、江府町が44.0%などとなっている。前年と比べると、全市町村で上昇した。

一方、生産年齢人口割合は、全市町村で低下した。

市町村別年少人口割合



市町村別老年人口割合

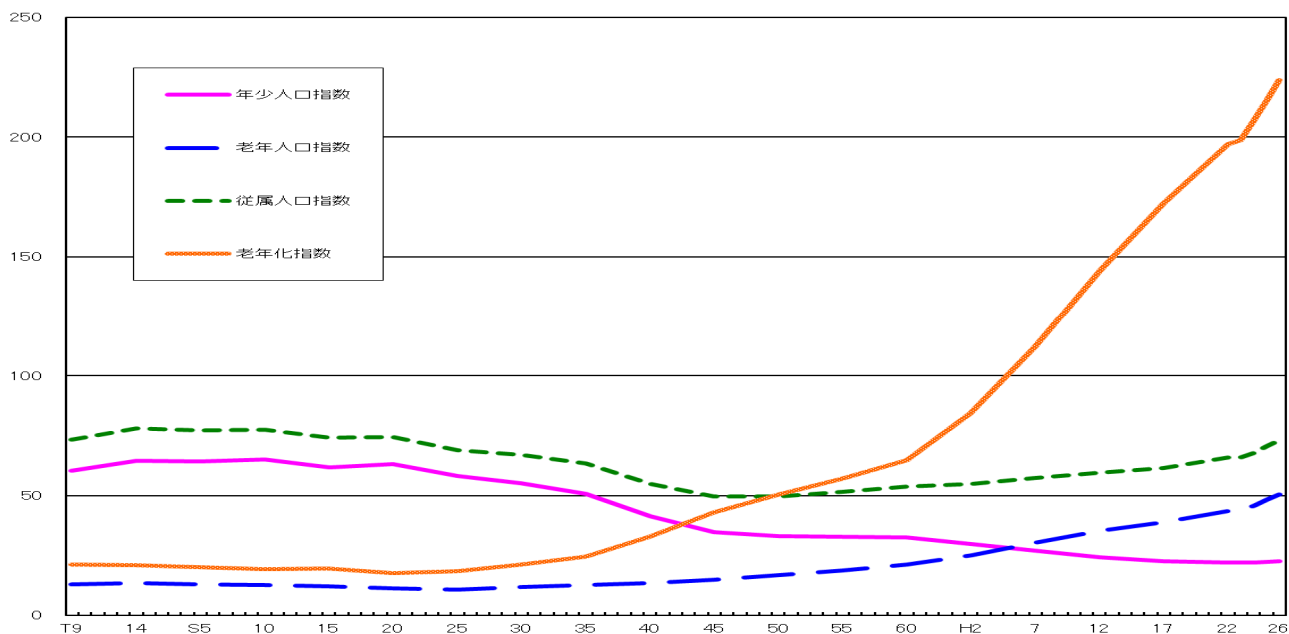


3 年齢構成指数

老年化指数は223.9ポイントとなり、過去最高

鳥取県の人口について、年齢構成指数別にみると、年少人口指数は22.6で前年と比べ0.2ポイント上昇、老年人口指数は50.5で2.3ポイント上昇、従属人口指数は73.1で2.6ポイント上昇、老年化指数は223.9で8.5ポイント上昇している。

年齢構成指数の推移—大正9年～平成26年



注)大正9年から平成22年までは国勢調査値、平成23年以降は平成22年国勢調査を基準として推計したものである。